

委 託 業 務 仕 様 書

1 委託業務名称 福島県農業総合センター農業短期大学校給食業務委託

2 委託期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日

3 業 務 内 容

- (1) 本校学生に対する給食及び委託者(以下「甲」という。)が必要と認めるその他の給食、飲食物の提供を行う。
- (2) 受託者(以下「乙」という。)は保健衛生に万全の注意を払い、また学生等の健康管理についても配慮し、栄養価及び嗜好性等に適した給食の提供を行う。
- (3) 食材の仕入れ及び管理を行う。
- (4) 厨房及び食堂内の衛生管理のための日常清掃業務を行う。また感染症対策としてテーブル等のアルコールによる消毒作業を行う。
- (5) 乙は概算単価を記入した予定献立表を作成し、事前(2週間前程度)に甲に提出する。献立はカロリーだけでなく栄養面も考慮して作成すること。
なお、献立表にはアレルギー物質を表示すること。
また、やむを得ず献立の変更をする場合は、事前に報告すること。
また、喫食者アンケート調査の結果に基づき、献立の改善を積極的に行うこと。
- (6) 給食提供は予定献立表に基づき行う。ただし、体調不良等の学生がいる場合は、できる限りその体調等に応じた食事の提供を行うものとする。
- (7) 喫食数は甲より事前に連絡を受け確認すること。なお、喫食数に変更が出た場合は、協議のうえ、決定するものとする。
- (8) 乙は、1月ごとに提供喫食数を甲に報告する。

4 給食を実施しない日

給食を実施しない日は下記及び別紙給食予定表のとおりとする。

なお、給食を実施しない日の前日の夕食及び翌日の朝食については、給食の提供を要しない。

- (1) 土曜日・日曜日(ただし、7月21日(日)、8月3日(土)はオープンキャンパス、10月19日(土)、は学校祭(櫛隆祭)のため除く)、国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (2) 休業期間(土、日及び祝日含む)
令和6年 4月 1日(月)～ 8日(月) (春期休業)
令和6年 8月10日(土)～19日(月) (夏期休業)
令和6年12月16日(月)～31日(火) (冬期休業)
令和7年 1月 1日(水)～ 6日(月) (冬期休業)
令和7年 3月10日(月)～31日(月) (春期休業)
(なお、1月7日の給食は夕食から提供すること。)
- (3) 学校祭振替休業 10月21日(月)、22日(火)
- (4) 学校記念日及び臨時休業日
令和6年 7月19日(金)
令和6年 9月30日(月)
令和6年11月 1日(金)
令和7年 2月10日(月)

- (5) 上記のほか、学校行事等の都合により給食実施日を変更する場合は、甲乙協議のうえ、決定する。

5 給食提供方法

- (1) 定食形態による給食とし、朝・夕食については1種類以上、昼食について2種類以上のメニューを提供する。
- (2) 定められた喫食時間、場所において指定什器を用い給食の提供をする。なお、学校行事等により事前に変更を指示した場合はこの限りでない。

6 喫食時間(提供時間)

朝 食	7時45分	～	8時20分(7時45分	～	8時10分)
昼 食	12時00分	～	12時45分(12時00分	～	12時30分)
夕 食	17時45分	～	18時30分(17時45分	～	18時15分)

7 勤務体制等

- (1) 勤務体制は栄養士1名、調理師・調理員3名の計4名による交代シフト制とする。
- (2) 給食業務は、乙の雇用する従業員をもって行うものとする。
- (3) 乙は、従業員の名簿を甲に提出し、その了承を得なければならない。
- (4) 乙は従業員の中から給食に関する責任者を決め、甲に通知すること。
- (5) 甲は、乙の従業員が給食業務を行うのに不適当と認めたときには、乙に対してその理由を明示し、作業員の交代を求めることができる。

8 厨房設備等

- (1) 甲は乙に対し、給食業務を遂行するために必要な施設、機械、器具、什器及び備品等は無償で貸与する。
- (2) 乙は施設、機械、器具、什器及び備品等の目録により、甲に借用書を提出する。
- (3) 乙は、甲より借用した物件を大切に保管し、炊事室、食堂等の清潔な保持整理整頓、経費の節減、火災の防止について責任を負う。万が一、乙が故意又は重大な過失により保管物件を滅失又は損壊したときは、乙は実費を弁済する。
- (4) 乙は、甲の承認がなければ借用物件を改変することはできない。
- (5) 乙は契約期間が満了したとき、又は中途において解約をしたときには(1)の借用物を、甲へ速やかに返還しなければならない。
- (6) 乙は(1)の施設において、甲の指示する給食以外の調理給食を行ってはならない。

9 安全及び衛生

- (1) 乙の従業員の安全、衛生については、乙の責任において行う。
- (2) 乙は、労働基準法及び衛生諸法規を遵守し、所管保健所の諸検査には万全を期するとともに乙の従業員には大学校内において行動は甲の諸規定に従い勤務させるものとする。
- (3) 乙の過失により食中毒又は法定伝染病が発生した場合には、乙は誠意をもって賠償の責に任ずるものとする。ただし、その原因等については、所管官公庁の判定に基づくものとする。

10 経費負担区分

- (1) 甲は、下記の経費を負担する。
 - ア 食堂施設機械の維持費
 - イ 什器、備品の購入費及びその補修、補充費
 - ウ 電気、ガス、水道等の光熱水費
- (2) 乙は、下記の経費を負担する。
 - ア 従業員の人件費(保健衛生等に係る費用を含む)
 - イ 電話開設等費用
 - ウ 生ゴミ処理に係る費用

11 給食費

- (1) 給食費(主食、副食材料費、調味料、消耗品及び衛生関係薬品)は喫食者の負担とし、乙は給食に係る材料の購入管理を行う。
- (2) 1食あたりに要する給食費は下記の基準とする。(消費税を含む金額)

朝 食	～	定食形態	420円
昼 食	～	定食形態	500円
夕 食	～	定食形態	560円
- (3) 給食費については、月間により集計し、乙が喫食者に甲を通して請求受領する。

12 年間予定喫食数量 39, 336食

内訳	朝食	54 食	×159日	=	8, 586 食
	昼食	110 食	×201日	=	22, 110 食
	夕食	54 食	×160日	=	8, 640 食

13 食堂の改修工事について

令和6年度に食堂厨房の改修工事を計画しており、工事期間中は仮施設での調理となる。仮施設での給食提供については、以下のとおり計画している。

なお、工事期間は令和6年6月以降に決定するため、工事期間が決まり次第、甲乙協議のうえ、業務内容に変更が生じる場合には変更契約を締結するものとする。(以下は予定である)

- (1) 仮施設は3台のコンテナキッチンを予定している。
- (2) 仮施設の標準設備は、コンロ、シンク、給湯器、コールドテーブル、エアコン等を予定している。
また、必要な厨房設備は、甲乙協議のうえ、既存の食堂からの移設又はリースで対応する。
- (3) 仮施設の設置場所は別紙のとおり予定している。
なお、飲食場所は校内の施設とし、仮施設からの配膳方法については甲乙協議のうえ、決定する。
- (4) 食器は、仮施設で洗浄ができないため使い捨ての容器とし、甲が負担する。また、使い捨て容器の処分方法については甲乙協議のうえ、決定する。

14 その他

給食の食材のうち、米穀については甲より購入すること。

なお、野菜・果物等の生産物についても、できる限り甲より購入するものとする。

また、価格、供給数量等については、甲乙協議のうえ、決定するものとする。